

2015 年度 センター試験 地理 B (本試験) ワンポイント解説

第1問	問1	古期造山帯の代表的山脈であるウラル山脈、新期造山帯であるアラスカ山脈、安定陸塊のデカン高原と、いずれも基礎知識であるため、迷うことなく解答できる。
	問2	まず雨季の降水量の多い①②をF、少ない③④をEとする。次にEの絞り込みは、赤道低圧帯の移動により北半球側で降水量が多くなる③が7月、南半球側で多くなる④が1月と判断する。
	問3	まず冬季に氷点下まで下がる①は高緯度に位置するLと判断する。次に最暖月平均気温が低い③は、寒流であるカナリア海流の影響を受けるJであると判断する。②と④の判別は、内陸であるために寒暖差が大きくなるMを②と判断し、残る④が解答となる。難問である。
	問4	塩類が集積するのは乾燥地域の土壌であるため、③が誤りとなる。
	問5	Yは石灰岩が雨水に含まれる酸で溶食されたカルスト地形である。
	問6	「シ」は環太平洋造山帯とアルプス＝ヒマラヤ造山帯に発生するため、地震・津波と判断する。「ス」は「サ」「シ」と比較して発生件数が少なく、東南アジアや中南米といった代表的な火山が見られる地域で発生しているため、火山と判断する。残る「サ」は海水温が高い西太平洋、カリブ海地域で発生しているため、熱帯低気圧であるとわかる。
第2問	問1	資本主義国では、農地を国有化することはあり得ないため、①が誤りであるとわかる。
	問2	「ア」はインドネシア、マレーシアに生産が集中するため、パーム油であるとわかる。「イ」は中国以外にインド、ケニア、スリランカなどの旧イギリス領が見られることから茶であるとわかる。
	問3	オランダは人口密度が高く、集約的な園芸農業や酪農が行われるため、農地あたりの生産額が最も高い④が正解となる。
	問4	コーンベルト、コットンベルトなどアメリカの農業地域区分を理解していれば、問題なく解くことができる問題である。
	問5	人口規模、所得水準から推測して、輸入額が最も小さな③をタイであると判断する。
	問6	小規模農家の保護よりも、国際競争力の強化のために大規模化を進めているため、③が誤りである。
第3問	問1	ハンブルクはエルベ川の河口（エスチュアリー）に位置する。
	問2	タイのバンコクやメキシコのメキシコシティは典型的なプライメートシティであるため、除外できる。オークランドが最大の都市であるニュージーランドが解答となる。
	問3	まず、迷路状都市が見られるイスラムの都市は、最も複雑な街路形態となっているBであると判断できる。AとCの判別は難しいが、Aに近代的なランドアバウトが見られることに着目すれば解答できる。
	問4	①は「国際金融拠点」「摩天楼」からニューヨークとわかる。 ②は「近年世界都市として急成長している」からシャンハイとわかる。 ④は「冷戦期に近隣国の政治的影響下にあった」からワルシャワとわかる。 パリは「万国博覧会」の他、歴史的建造物の保護に注力していることから判断できる。
	問5	地産地消は推進されているが、農業従事者の高齢化などが原因で耕作放棄地は増加しているため、③が誤りとなる。
	問6	東京圏に大きく偏る②④は、東京と交通の結びつきが強い東北や甲信越であるとわかる。中国は大阪圏に近いため、その比率の高い③であるとわかる。三大都市へのアクセスに大きな差が出ない北陸地方を①と判断できる。
第4問	問1	Aはペルー海流の影響で海岸砂漠となり、Bはアンデス山脈の山岳地帯で、Cは山脈を越えた後にみられる熱帯雨林である。それを写真に照らし合わせるだけで良い。
	問2	Gのブラジル高原は安定陸塊であるため、誤りである。
	問3	ブラジル高原は、大規模ダム建設により農業開発が推進されている。コーヒーやバナナが栽培されるのはK地域であるので間違えないこと(ブラジルでコーヒー栽培がおこなわれているのはMよりも南である)。
	問4	「カ」は天然ゴムの原産地であるマナオスである。「キ」はベロオリゾンテ、「ク」は「計画都市」「政治機能が集まる」から首都のブラジリアであるとわかる。
	問5	ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、アルゼンチン、ボリビアなど、加盟国間の域内貿易が目立つ③がMERCOSURのものであると判断できる。日本語名称に「南部」とあるように、資源大国ブラジルと、農業国アルゼンチンを中心に結成された協定である。

第5問	問6	①はヨーロッパからの移民が多いことが理由であるため、誤り。 ②はスペイン語が正しい。 ④はカトリックが植民地支配後の強制布教を原因とするため、誤り。
	問1	発展途上国であるフィリピンは④であるとわかる。公的支出の割合が最も高い③は北欧であるデンマークとわかる。①②については、豊富なオイルマネーで充実した医療制度を持つアラブ首長国連邦と、個人負担比率の高いアメリカの差で判断する。難問である。
	問2	死亡率が20世紀末から上昇している「ウ」はエイズ蔓延地域である南部アフリカであるとわかる。次に、紛争地域が多く経済発展から取り残された中部アフリカは出生率が高いので、「ア」であるとわかる。
	問3	シンガポールはインフラ整備が進んだことから東南アジアにおける金融業、サービス業の拠点として機能しているため、誤り。ニューヨークでは、過去にはハーレム地区などを中心にインナーシティ問題が深刻化していたが、都心再開発により、近年は都心回帰が進んでいるため、誤り。
	問4	「カ」は過放牧が多いことから、遊牧の多いアフリカとわかる。「キ」は森林破壊が多いことから、アマゾン川流域で開発が進む南米であるとわかる。「ク」は農業による土壌劣化が多いことから、連作障害が問題になっているアメリカ合衆国を含む北中米であるとわかる。
第6問	問5	急激に増加している①は中国であるとわかる。次に、20世紀末まで1位であった②はアメリカであるとわかる。残るイギリスとオーストラリアについては、95年以前を見れば、差が明確であり、排出量の大きな④がイギリスであるとわかる。
	問1	Q駅とR駅の間には一面に水田が広がり、富良野岳との間に視界を遮るものはないため、②が正解であるとわかる。
	問2	②の信号機は着雪による重量に耐えるために縦型になっている。③は積雪時にも道路境界がわかるように、④は消火栓が使用しやすいようにしているものである。
	問3	鉄道は新たに作られていないため、②が誤りであるとわかる。
	問4	ジャガイモの栽培地域は広範囲にわたっており、南部の盆地にも見られるため、②が誤りであるとわかる。
	問5	冷帯地域には冬季の低温に適応できる落葉広葉樹が分布する。木材の国内生産量が増加し、消費量は減少しているため、自給率は上昇していることがわかる。
問6	問題文の注釈にあるように「夏季」は7～9月、「冬季」は1～3月である。それぞれの観光客数を足して比較してみれば解答できる。	